

脳はダメしても⇒身体はダメされない # 05 出品目録

会期：2025年4月26日(土)～7月13日(日)  
会場：岐阜県美術館 展示室2

主催：岐阜県美術館  
協力：フォンフロワ修道院  
(ナルボンヌ/フランス)

\* オディロン・ルドン作品は全て岐阜県美術館蔵  
制作年 素材技法

作者 (生年-没年) 作品名・資料名

1. つなぐ人日比野克彦—ルドンゆかりの地を訪ねて

ルドンのアトリエ  
ペイルルバード  
フォンフロワ修道院  
フォンフロワ修道院からパリに戻るTGVでのアイデア

2. ルドンとわたし

オディロン・ルドン (1840-1916)	『エドガー・ポーに』表紙 = 扉絵	1882	リトグラフ/紙
	『エドガー・ポーに』V. 諸存在を導く息吹は球の中にもある	1882	リトグラフ/紙
	『ゴヤ頌』I. 夢のなかで私は空に神秘の顔を見た	1885	リトグラフ/紙
	『夜』IV. キマイラはあらゆるものを恐ろしそうに見つめた	1886	リトグラフ/紙
	『陪審員』V. 眼に見えぬ世界は存在しないのか……	1887	リトグラフ/紙
	『悪の華』表紙 = 扉絵	1890	リトグラフ/紙
	『悪の華』VIII. 章末の挿絵	1890	リトグラフ/紙
	『夢想(わが友アルマン・クラヴオーの思い出に)』I. …それは一枚の帳、ひとつの刻印であった……	1891	リトグラフ/紙
	『幽霊屋敷』表紙 = 扉絵	1896	リトグラフ/紙
	『幽霊屋敷』IV. 十中八九それは私のと同様に肉と血をもつ手であった	1896	リトグラフ/紙
	『聖アントワーヌの誘惑』第一集 表紙 = 扉絵	1888	リトグラフ/紙
	『聖アントワーヌの誘惑』第一集 IX. いたるところで腫が燃える	1888	リトグラフ/紙
	『ギュスターヴ・フロベールに』(『聖アントワーヌの誘惑』第二集) 表紙 = 扉絵	1889	リトグラフ/紙
	『ギュスターヴ・フロベールに』(『聖アントワーヌの誘惑』第二集) IV. 聖アントワーヌ：どこかに始原的な形象があるはずだ。その身体は映像にすぎないのだ	1889	リトグラフ/紙
	眼をとじて	1890	リトグラフ/紙
	パルジファル	1892	リトグラフ/紙
	スキヤポデス	1892	リトグラフ/紙
	『聖アントワーヌの誘惑』第三集XIII. …頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	リトグラフ/紙
	『聖ヨハネ黙示録』表紙 = 扉絵	1899	リトグラフ/紙
	『聖ヨハネ黙示録』X. 彼らを惑わしたる悪魔は火と硫黄との池に投げ入れられたり。ここは獣も偽預言者もまたいる所にして	1899	リトグラフ/紙

日比野 克彦 (1958- ) ケイショウ→エイゾウ 2016 鉛筆、色鉛筆/紙

3. フォンフロワ・プロジェクト

オディロン・ルドン (1840-1916)	スケッチ	1880頃	エッチング/紙
	『聖アントワーヌの誘惑』第三集 XXII. …革袋のように丸い、海の獣たち 弓を持つケンタウロス	1896	リトグラフ/紙 油彩/画布
日比野 克彦 (1958- )	設計図	2024	ペン/発砲パネル
	フォンフロワ修道院活動写真・映像	2024	
	彷徨う時間は再び巡り合うことはできない大切な時間。	2024	水彩、パステル/紙
	ここがあら側への入り口になるので挨拶をしておこう。	2024	水彩/紙
	自意識が見えるので、自意識を消す練習をしましょう。	2024	水彩/紙
	ルドンさんの記憶が身体にある内に木の上から光の元に繋がる坑道の入口を探す。	2024	パステル/紙
	恐る恐る窓の外に出てみる。	2024	水彩、パステル/紙
	木は外に慣れているからなあ	2024	水彩/紙

